

朋友

For You

沖縄セントラル病院広報誌

2012年9月発行 Vol. 20



医療法人寿仁会

沖縄セントラル病院
ユートピア沖縄

〒902-0076 沖縄県那覇市与儀1-26-6 TEL.098-854-5511 FAX.098-854-5519

URL <http://www.jyujinkai.jp/central/> E-Mail o-centh1@nirai.ne.jp

目 次

*病院創立40周年事業スタート	3
市民公開講座 9月2日 午後13:15~16:30(受付12:30より) 切らずに治す“がん”治療 ~最先端の放射線治療について~	
*命ぐすい耳ぐすい沖縄タイムス(2012年3月6日)より抜粋	4
脳転移のがん患者 ガンマナイフが効果的	
*ふれあい看護体験	6
*職場体験学習報告 フローゲンセンター	8
*マレーシア熱帯果樹探訪記	9
*医療訴訟講演会 辞令交付	11
*新入職員紹介	12
*トピック /うたの会/与儀小学校区早朝清掃/高齢者搬送訓練	14
*病院の基本理念	15
*外来・ドック・訪問診療担当表	16

9月の花

表紙の写真：富士山裾野のコスモス 花言葉はピンクは少女の純潔を、赤は調和・愛情を、白は美麗・純潔・優美を、濃いピンクは愛情を、黄花コスモスは野生美を、濃紫（チョコレートコスモス）は恋の終わりの意味合いを持つそうです。



AMDA沖縄 会員募集 救える命があればどこまでも！

AMDA沖縄の活動を応援してくださる会員を募集しています。

入会希望の方は下記までご連絡下さい。
(医師・一般・法人・学生等)

那覇市与儀1丁目26番6号(沖縄セントラル病院内)
TEL098-854-5511(担当:津波古伸子)

AMDAの活動へのご支援のお願い

AMDAでは今度も平和を妨げる戦争、災害、そして貧困に苦しめられている人々への保護医療支援を行っていきます。

今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。
ご寄付の場合は下記の口座までお願いします。

沖縄銀行 与儀支店 普通預金 1295760
アムダ沖縄代表 大仲良一(おおなかよしげ)

沖縄セントラル病院 創立40周年記念行事がスタートしました。

1972年に沖縄セントラル病院の前身である沖縄中央脳神経外科が那覇市与儀に開設されて、40周年目を迎える来年に向け記念行事がスタートしました。地域に支えられ、地域とともにあり、地域の方々への報恩の気持ちで、市民公開講座を開催いたします。現在、国内で第一の話題にランクされる放射線関連のお話や、ガンマナイフ治療で、著名な先生がたの講演になります。(広報編集委員)

**2012
市民公開講座**

切らずに治す“がん”治療
～最先端の放射線治療について～

司会 宮城 航一 先生
沖縄セントラル病院 院長

日時
2012年 9月2日(日)
13:15~16:30
(受付 12:30~)

場所
那覇市民会館

入場無料

この機会をお見逃しなく

12:30-13:15 受付

13:15-13:25 開会の挨拶
大仲 良一 先生 沖縄セントラル病院 理事長

13:25-14:10 放射線被ばくの人体影響
中村 仁信 先生 大阪大学名誉教授・医療法人友紘会 彩都友紘会病院院長

14:10-14:55 放射線治療最前線
茂松 直之 先生 慶應義塾大学病院 放射線治療科 教授

14:55-15:10 休憩

15:10-15:55 脳腫瘍はもう怖くない！人生を手術する。
からだにやさしい最先端脳神経外科治療ガンマナイフ
林 基弘 先生 東京女子医科大学 脳神経外科 講師

15:55-16:30 質疑応答

【問い合わせ先】〒902-0076 沖縄県那覇市与儀1-26-6 医療法人 寿仁会 沖縄セントラル病院
市民公開講座「切らずに治すがん治療 係」

Tel:098-854-5511 (代表)
098-854-5516 (ガンマナイフセンター)

主催:医療法人 寿仁会 沖縄セントラル病院 ガンマナイフセンター 共催:エレクタ株式会社
後援:沖縄県・那覇市・(社)那覇市医師会・沖縄タイムス社・琉球新報社・NHK沖縄放送局・琉球放送・琉球朝日放送・沖縄テレビ放送・ラジオ沖縄・エフエム沖縄(順不同)

Gamma Knife

沖縄セントラル病院 創立40周年記念

** ダイジェスト 「5年毎」で見る足跡 **

病院創立からガンマナイフ導入まで

1973年(昭和48)

沖縄中央脳神経外科 創立

1978年(昭和53)

病院増築工事

沖縄セントラル病院へ院名改称(9科目標榜)

第一世代 頭部CT導入

リハビリテーションセンター開設

1983年(昭和58)

高気圧酸素治療第Ⅱ種装置導入(沖縄県民間病院で初)

1988年(昭和63)

WHO、国際ロータリーより“インドに於けるポリオ及びコールドチェン調査”の為病院長(大仲良一)特命派遣される

1992年(平成4)

病院創立20周年記念で職員15人、富士登山

公開講座“エイズ予防講演会”那覇市民会館にて(医療・教育・宗教関係者を対象)

1997年(平成9)

AMDA国際奉仕活動(フィリピン国へ医療用ベット140床寄贈)

国際奉仕活動 ペルー国孤児院シスター入院治療奉仕活動

〃 ペルー国リマ市における学校建設支援基金寄贈

2002年(平成14)(5月)

ガンマナイフ治療装置設置 世界で172、国内で37台目)





宮城 航一 沖縄セントラル病院

健 康

セントラル病院 ガンマナイフ担当医でもある宮城航一院長のコラムが沖縄タイムスに掲載されました。

県医師会編

命ぐすい耳ぐすい

<831>

11月から稼働するガンマナイフ新機種パーエクション(筆者提供)

脳転移のがん患者



11月から稼働するガンマナイフ新機種パーエクション(筆者提供)

がん患者は①がんと診断された時②手術の前③転移が明らかになつた時、そして④すべての治療を断念せざるを得なくなつた時が最もつらいといふ。

脳転移を告知されて間もない方々が、ガンマナイフセンターに紹介されきます。絶望と不安の中を受診されるので、診察室は緊迫した空気が張り詰めます。私が一番大切に思つていることは、ガ

ンマナイフ治療の適応基準ではなく、目の前の患者さんに「私がして差し上げられる最善はなんだろうか?」です。

ガンマナイフは転移性脳腫瘍な

ど脳病変を治療対象とする定位放射線治療装置です。半円球状に配列した201個の「パルト線源から照射されたガンマ線ビームは一矢に集中するよう設計されています。正常脳組織への被ばくは抑えられますが、病変部は通常の放射線治療で用いられるよりも極めて高い線量が照射されます。脳の深い部分や重要な機能を担う部分に病変がある場合、大切な機能を温存して病変部だけを選択的に0・1ミリ以下精度で治療できます。

本院でガンマナイフ治療を受けた転移性脳腫瘍の方は約1300人を数えます。原発癌で多いのは、肺がん、乳がん等で、脳に転移する率は、それぞれ40・8%、50・8%と報告されています。

ガンマナイフ治療は、脳転移による死亡の回避、患者さんの生活の質の維持・回復に有効です。局所麻酔下に治療が可能なので、全身麻酔が危険なため手術できない高齢者にも適応できます。脳幹

等、手術困難な部位に生じた転移巣にも治療が可能です。治療に伴う合併症の発生率は、手術の30%に対して4%と極めて少なく、また被ばく線量も少ないので、新病巣が出現しても繰り返し治療できます。脳転移巣の局部制御率は84%、1年における神経死予防率は88・5%です。従来脳転移をきたしたがん患者の大多数は、脳転移が死因となるましたが、ガンマナイフの出現で、脳転移が死因となる率が激減しているのです。

紹介時、手が付けられない程度大きな脳転移巣の場合もあります。もつと早く磁気共鳴画像装置(MRI)検査を受けていたらと思われます。「がん」の30%は脳に転移するのだから、脳症状がなくとも定期的に脳造影MRI検査を受ける方がよいのです。

今後も転移性脳腫瘍の方々に「私がして差し上げられる最善は何か?」を追求していきたいと思います。

Gamma Knife

ふれあい看護体験

「看護の心をみんなに」をテーマに県内中学、高校の4校を受け入れふれあい看護体験の実習が5月24～26日にかけて行われました。

「ふれあい看護体験」希望者は年々増加し、今年度は3日間に渡り受け入れを行いました。人数が多く、座間味中学校、県立那覇西高等学校、県立陽明高等学校、首里東高校から全体で19名もいた為、受け入れ体制を整えるのに苦労しましたが、未来の看護職育成の一環として現場ナース、他部署とも協力し、生徒と一緒に良い体験が出来たと思います。(師長兼看護部長補佐 喜久川明日香)

「ふれあい看護」に参加しての感想

首里東高校 平良海夏

私は、「ふれあい看護体験」に参加して、さらに看護師になりたい気持ちが強くなりました。

今回、看護師さんの仕事がどのようなものか見て、体験してとてもむずかしく驚くことも、たくさんありました。ですが、そんな中でも看護師さんはてきぱきとしていて、とても輝いていました。自分も将来こんな看護師になりたいと思いました。

また、ディサービスにも参加できてとても楽しかったです。

那覇西高校 伊礼美咲

1日ふれあい看護体験をしてみて、看護師さんお仕事がどのようなものか知ることができました。

桜ちゃんをつかって、鼻から胃チューブを通して、聴診器を使ったり普段は絶対にすることのできない貴重な体験ができました。ユートピア沖縄では実際にふれあって、元気いっぱいな姿を見てることができてよかったです。リハビリなども体験することができてよかったです。又このような機会があれば参加したいです。

今日は1日ありがとうございました。



師長（両端）と那覇西高校生10名

ふれあい看護体験

○○高校 南 佑紀奈

今日1日、ずっといい体験をさせてもらえて、改めて看護という仕事の大変さや、やりがいなどを感じる事ができました。近くで見る看護の現場は私が思っていたよりも、怖い？というか緊張感があつて、患者さんが急にピクンピクンとなった時とか、看護師さんが冷静に対応していたのがすごいなあーと思いました。（慣れですかね！）

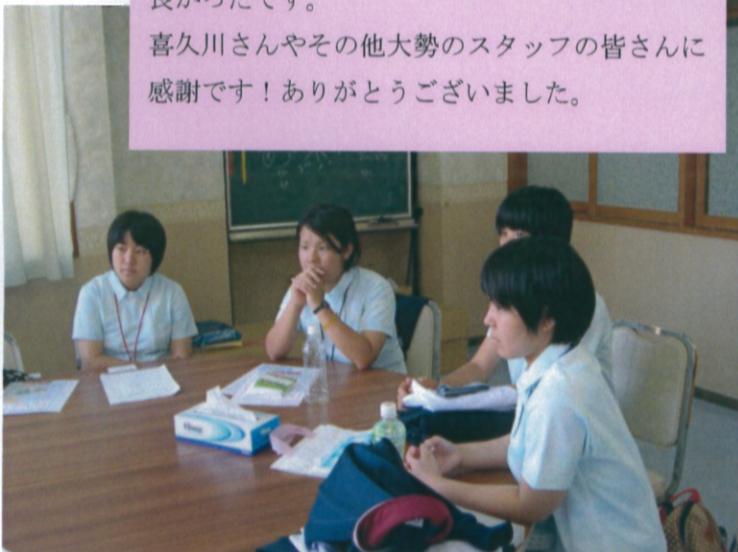
桜ちゃん（という名の人形？）で鼻からチューブ？を通したり、胃液をとったり、普通の看護体験ではできないような事までさせてもらえて、自分は将来こんな事をやるんだなあと実感しました。リハビリの体験もすごく楽しくて、以外ときたかったので、患者さんはもっときついだろうなと思いました。

お昼にはユートピア沖縄に移動して、おじいちゃんおばあちゃんと、レクをしたりして楽しかったです。あむろなみえさんが面白かったです。
(笑)

最後に皆さんと握手をした時にすごくいい言葉をもらって人間のあたたかさ（？）にふれてすごく感動しました。

本当に、今回のふれあい看護体験に参加できて良かったです。

喜久川さんやその他大勢のスタッフの皆さんに感謝です！ありがとうございました。



陽明高校 黒島美波

今日の看護体験を通して、看護の仕事をもっとやりたいと思うようになりました。寝たきりの方や高齢者の方が多くて、いろいろときびしい仕事をこなしているのを見て、カッコイイと思いました。

看護の仕事は、コミュニケーション能力もとても大切ということがわかりました。方言の勉強も必要だなと思いました。

また、ユートピア沖縄のグループホームファミーユ、ディサービスも見学し、高齢者の方々との交流もとても楽しめたのでよかったです。

疲れていても顔に出さないで笑顔で患者さんに接する、そんな看護師を目指したいです。



座間味中学校の生徒（下段左）と陽明高校の生徒（下段右三名）



フローゲンセンター長 金城友一



去る6月26日～28日の3日間、当院5階メディカルフィットネスセンター フローゲンでは、那覇市立上山中学校2年生の体験学習が行われました。参加した生徒は男子3名、女子2名の計5名、全員運動系の部活に所属する元気で活発な少年少女達でした。

受け入れる施設側として、この体験学習で最も気をつけた点は、当然の事ですが、参加した子供た

ち全員が元気で全日程を終了できる事でした。それから社会人として、時間の厳守・挨拶の徹底について重点的に指導しました。その他、将来の職業選択の幅が少しでも広がるようにと、看護や介護、デイサービスと多くの現場を見てもらうよう努めました。

主な活動内容は、フローゲンでは身体計測や体力測定・肺活量検査を体験させた外、正しいストレッチの方法を学びました。また、当院フローゲンの会員さんとのコミュニケーションとして、体験談を聴き、その内容についてディスカッションしたりしました。

2日目は、看護部の協力を得て、病棟での患者看護や介護を体験し、午後からはデイサービスでお年寄りとのレクリエーションにも参加しました。

最終日には、院内美化活動に協力、駐車場の樹木の剪定作業や雑草の草むしりに汗を流しました。年齢にして13～14歳といえば「半分子供・半分大人」のような年頃でアイデンティティーが芽生え始める頃です。「人生の生きがい」や「仕事のやりがい」について、生徒達は初めて対峙したのではないで



しょうか。

体験学習の最後に、私たちは生徒にこう伝えました。「人生は長く、短い」と。「時間は永遠ではない。大切にしないと、掌からこぼれ落ちる砂のように、どんどん消えていく…だから今出来る事を一生懸命に頑張りなさい」と。5名の生徒達が、将来きっと素敵なお社会人、職業人となる事を期待し、ペンを置きます。





窓の外はマイナス 25°C、10,500m のせかいである。台北経由で 5 時間弱、熱帯雨林のマレー半島の上空を飛んでいた。当初の予定の、深夜乗り継ぎの上海経由チャイナ便からの急遽変更で、早朝便となつた。朝食は移動バスの中でボックスと呼ばれる冷やしのハムとチーズの挟まれたパンであった。只、離陸後 30 分で熱い朝食、12:00 過ぎにランチが提供された。食には不足のない路を予感した。機の腹に付くカメラには半島一面が Green に塗られたキャンパスである。熱帯地域でも今では赤茶けた顔を見せるのが常である。降下し、首都に近くなるにつれ巨大化した plantation のアブラヤシが見えた。20~30 年ほど前、世界の環境団体から自然破壊の批判を浴びせられた地域の一つである。日本へ入ってきた巨木の熱帯産、材木のラワン材が姿を消した頃で、那覇市の国場川河口(モノレール壺川駅付近)でもイカダ状に組まれた大量の巨木が見られなくなっていた。

マレイシアの密林は熱帯雨林からココヤシに変わり、それを駆逐して換金効率の高いアブラヤシに変わっているのである。山の頂まで段々畑状にヤシが植栽されていた。plantation は日本の商社もかなり保有しているとの Guide の声であった。何気なく日頃使っている K 社 / T 社の石鹼類のたぐいは、現地で原料を調達し生産されているのである。食用の油脂類やバイオ燃料までもが作り出されている。かつて、中東に巨大な科学コンビナートを誕生させた(イラン・イラクの中東紛争に会う)商社は、東南アジアや中南米、アフリカへと向っている。アブラヤシは植栽 3 年目から収穫できるとの(野生のリスの好物とか) 事であった。



クアラルンプールの 10km 四方の空港敷地内には F1 第 2 戦目の Malaysian GP のレース場を隅に置くように、かなり広大である(4000m 超滑走路 2 本)。メインの Airport Terminal は世界的な日本の建築家、黒川記章氏の画いたターミナル が広大な平地に広がっていた。

中では、空港鉄道(エアポートレン)で移動し、ターミナル 5 階のレストランの天井は巨大な日本傘を開いたように高く、床から天井まで斜めに伸びる棒状の柄は(梁)和傘を連想させるのかもしれない。京都や岐阜などで、造り手の少なくなった日本の伝統文化がかすめた。ガラス越しに入ってくる光がやさしく感じられ亞熱帯の地を忘れさせるようである。熱帯果物をデザートにして階下からバスに乗り込んだ。



《2007年9月15日撮影、KLIA空港》

クアラルンプール（KLIA）市内を高速で駆け抜け農業試験場の見学である。JICAの支援などで広大な敷地に研究棟など諸施設が充実しているようである。Durian の品種改良などの講義を1時間超受けた後、試験場で採れた果物のピザのおやつが出た。空港バスが自由に動ける広大な試験場である。樹齢20年を越えるスターフルーツの園内を見た後、苗木育成場に案内を頼んだら、全員、金曜日の午後でモスクに行って誰もいないとの事で、囲いの外から見るだけになった。

1時間ほどバスを走らせて、農家の果樹園である。大人の手のひらに載りきれない程のドラゴンフルーツが山と積まれた庭先に20mを越えるドリアンの樹木にはビックリした。「収穫は落ちてからだよ！」と沖縄と通じるものを感じた（市場では実がはじけるのを防ぐ為に越前蟹のように縛り付けられている）。

ホテルの星の数を落として料理のランクを上げるプランは、ツインタワーのNight spotでショーを見ながらの食事である。1000の座席を埋め尽くすように数十の言葉の乱舞である。ヒンズー教徒の多い南アジアの民族衣装、サリーのカラフルな衣装をまとう女性は際立っていた。終ぞ彼女達が料理の受け皿を持って歩く姿は見なかった。



1997年のスパイダーマンの映画に使われた八十八階建てのペトロスツインタワー

機会があれば海賊が暗躍する古い都市マラッカ(ムカ) 経由でシンガポールに入国する話でも・・・・。



医療訴訟講演会



6月19日当院6Fホールにて、琉球法律事務所 竹下勇夫先生をお招きして、医療事故における訴訟の講演会を行いました。病院にとって又、患者にとって必要な保障、責任、義務等、竹下先生の実体験や、現状を交えて説明して頂きました。

全体5部構成になっており「医療事故の責任」や、「患者の自己決定権と医師の義務、医師の裁量」「試行的医療を実施する場合における説明義務」「病院の管理体制について任」等所々アドバイスもあり、全職員、特に医師、看護師など興味深く参加し、熱心に講演に耳を傾けていました。(編集委員)

竹下勇人（たけした いさお）弁護士プロフィール

昭和49年3月15日	早稲田大学法学部卒業
昭和51年4月	最高裁判所司法修習生（第30期）
昭和53年4月6日	司法修習終了
昭和53年4月7日	検事任官
昭和63年3月26日	検事退官
昭和63年4月1日	小堀啓介法律事務所に勤務
平成12年4月1日	弁護士法人「いた法律事務所」開設
平成17年4月1日	沖縄弁護士会会长就任 (任期 平成18年3月31日)
平成21年8月31日	弁護士法人「いた法律事務所」退社
平成21年9月1日	琉球法律事務所勤務

辞令交付式

平成24年8月1日セントラルケアビレッジ ユートピアの人事が発表された。

ユートピア沖縄ではセントラル病院からも役員一同出席し、辞令交付式を行った。

総務部長兼事務局長補佐

平安 茂正



デイサービスセンターアミーゴ管理者

眞栄田 依子



グループホーム ファミーユ管理者

前田 正



ユートピア沖縄用度・管財課長

當間 通人



ユートピア沖縄庶務課長

宮城 稔



ピアノ演奏とうたの会

8月16日(木)午後2時よりユートピア沖縄2F エントランスホールにてピアノ演奏によるうたの会が開催された。演奏者は小林和美さん、歌い手に山城尚子さんを招き「みかんの花咲く丘」「芭蕉布」「ジンジン」他3曲を歌い上げた。

演奏者の小林和美さんは施設利用者、鈴木フサエさんの娘さんで、パートナーの山城さんとは新報コンクールで銀賞をとったこともある実力者。会場は、いつになく活気がみられ、入居者と職員で賑やかな様子が見られました。



ピアノ寄贈

外来職員の桃原智子さんユートピア沖縄へピアノを寄贈

縁あってユートピア沖縄の立ち上げに関わることになり、ユートピアの整った施設にピアノがあるといいだろうな、という思いから理事長に話をしてみると思いの外、快く受け入れて下さり、家から運搬する手配をして下さいました。

ユートピアのエントランスに置かれたピアノを改めて眺めてみると、家とは違い、優雅で素敵に見えたので、嬉しく思いました。寄贈させて頂き光栄です。
有難うございました。

～桃原さんありがとうございました。～



ユートピア沖縄にて 高齢者搬送訓練

ユートピア沖縄では8月6日（月）午後3時より、真和志消防署指導の下消防訓練が行われた。実施訓練として寝たきりの患者を想定しておぶっての避難法や、シーツを利用した避難法など、災害時に備えて避難誘導を行いました。



与儀地区まちづくりの会 与儀小学校区清掃活動

6月16日、土曜日の早朝7時30分から病院前の通りを、セントラル病院職員とユーピア沖縄の職員の有志が集まり、地域美化清掃活動をしました。

歩道脇の雑草を抜き、新たに花を植え、地域の人に気持ちよく歩いてもらえる通路を心がけました。理事長も参加し、清掃後はスッキリと見栄えの良い通りになりました。お疲れ様でした。

(地域相談室・比嘉)



病院の基本理念

1. ひたすら病める人々のために
2. 健全なる人々の更なる健康増進のために
3. 集いし職員の生涯修養の館たらんことを

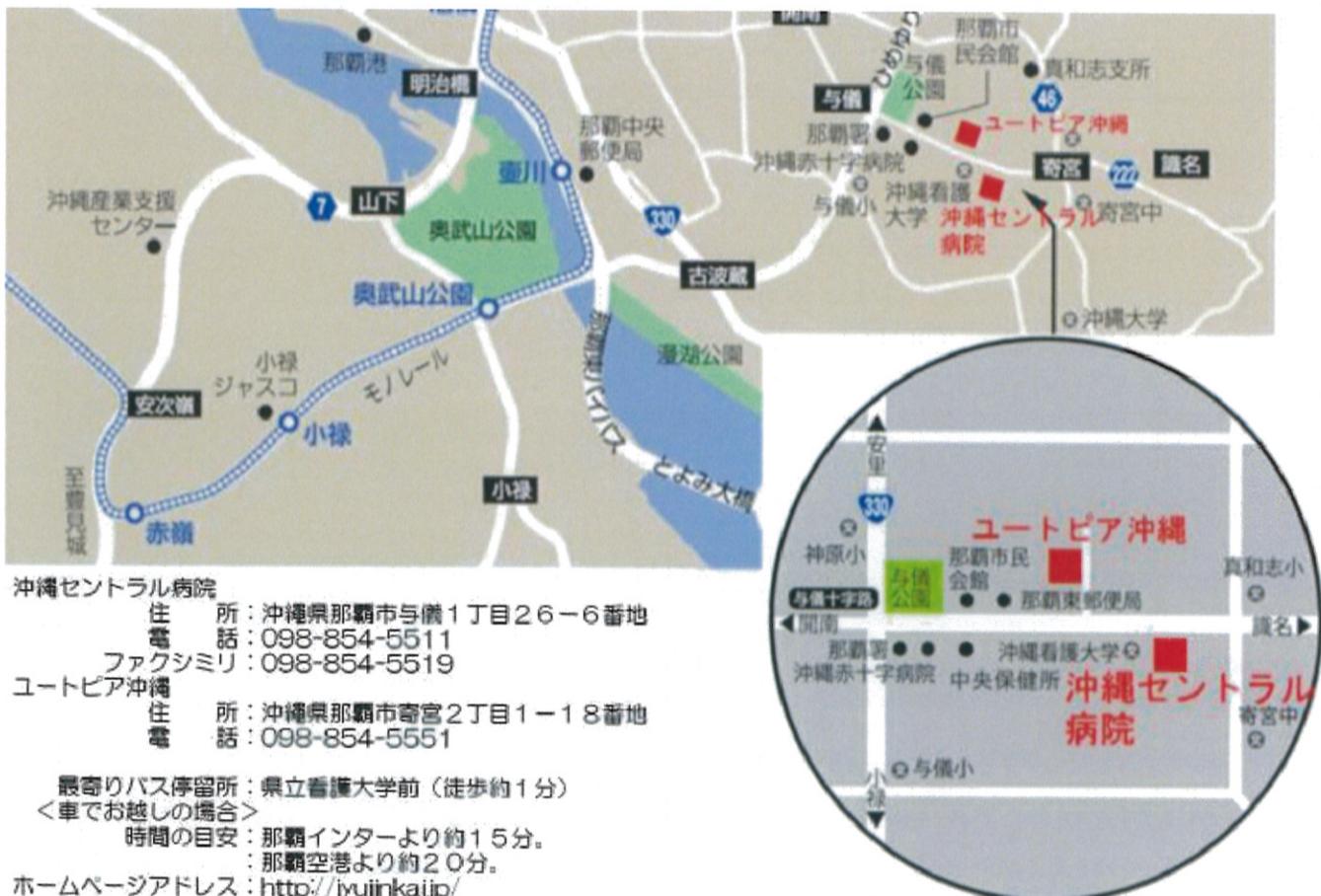
病院憲章

1. 私たちの病院は、地域の人々の健康と福祉を保証し、併せて健やかなる人々の病の予防と更なる健康増進のために努めることを目的とする。
2. 私たちの病院は、生命の尊重と人間愛を基本とし、常に医療水準の向上に努め、専門的・倫理的医療を提供するものとする。
3. 私たちの病院は、病める人々中心の医療の心構えを堅持し、地域の人々の満足を得られるよう意欲ある活動をするものとする。
4. 私たちの病院は、何人も利用しやすく、且つ便宜を人々に公正に分かち合うサービスを志向するものとする。
5. 私たちの病院は、地域医療体系に参加し、各々のもてる機能の連携により合理的で効率的な医療の成果を上げることに努めるものとする。6. 私たち職員は、たゆみない研鑽を積み、医療の鍛錬と医道の高揚に努め、限りない愛情と責任を持って、地域の人々のために最善を尽くすものとする。

看護部の理念

1. 地域の人々の疾病的予防と健康増進の為に、検診から在宅看護まで一貫した看護活動をとおして地域に貢献します。
2. 患者の身体的、精神的、社会的ニーズにお応えし、きめ細かな看護、介護の実践を目指します。
3. 患者の人権を尊重し、質の高い看護、介護を提供する為に、看護研修や研究を継続します。

沖縄セントラル病院・ユートピア沖縄ご案内



外来・ドック・訪問診療 担当表

H24年6月 1日実施

診療科	午前/午後	月	火	水	木	金	土
健診・人間ドック	午前	國吉	中村	瀬尾	國吉	中村	石田
内科 1	午前	石田	國吉	中村	石田	國吉	中村
	午後	加藤	加藤	石田	中村	加藤	石田
循環器内科	午前		鈴木(第2・4)	鈴木			
	午後	鈴木			松本	鈴木	
内視鏡	午前	加藤	加藤	石田	加藤	加藤	加藤
	午後						
脳神経外科	午前	宮城 航一	大仲	大仲	大仲	大仲	大仲
	午後	宮城 航一	宮城 航一	宮城 航一	外間	宮城 航一	宮城 航一
脳ドック・高気圧		大仲	大仲	大仲	外間	大仲	大仲
特需外来 (ガンマナイフ・パーキンソン)	午前						
	午後	宮城 航一	宮城 航一	宮城 航一		宮城 航一	宮城 航一
皮膚科	午前				琉大		
	午後						
外科	午前						
	午後				下地		
整形外科	午前	平	仲宗根(琉大)	平		平	
	午後	平	仲宗根(琉大)	平		平	
心療内科		※ 石津先生(不定期 月1~2回) 完全予約制					
歯科	午前	當間	當間	當間・仲程	當間・仲程	當間	當間・仲程
	午後	當間・仲程	當間	當間・仲程		當間・仲程	
訪問歯科	午前	仲程	仲程			仲程	
	午後						

■受付時間：午前8：30～12：30／後13：30～17：30

■診察時間：午前9：00～13：00／午後14：00～18：00

◎ガンマナイフセンター直通：854-5516（内線：217）

◎高気圧酸素治療センター00（内線：115）

◎リハビリテーションセンター（内線：500）

◎健康管理センター（内線：214・223）

●人間ドック●脳ドック●一般検診●特殊検診（航空身体検査・高気圧業務検査）

●メディカルフィットネスセンター「フローゲン」直通：854-5541（内線：502・504）

◎医療福祉相談室直通：855-7200（内線：219）

発行人：寿仁会理事長大仲良一 編集：沖縄セントラル病院広報委員会 石田真一 新里善一 新里幸男 神山弥生 宜野座工 城間啓多

※当院敷地内は禁煙となっておりますので、ご理解ご協力の程をお願い致します。